



2020年8月27日

各位

会社名 東京コスモス電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 岩崎 美樹  
 (コード番号 6772)  
 問合せ先 常務取締役管理本部長 飯嶋 正明  
 (TEL 046-253-2111)

**特別利益並びに特別損失の計上、  
 連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は2021年3月期第1四半期連結会計期間において、特別利益（助成金等収入）並びに特別損失（臨時休業等による損失）を計上しました。また、2020年5月20日に未定としておりました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想につきまして、以下の通りお知らせいたします。

## 記

1. 特別利益（助成金等収入）並びに特別損失（臨時休業等による損失）の計上について  
 新型コロナウイルス感染症の影響により受注、生産、販売が減少したため、グループ各社に於いて休業措置をとり、新型コロナウイルス感染症影響に伴う特例として助成金申請をし、助成金等収入51百万円を特別利益に計上いたしました。また、対応する臨時休業時の支払給与につき、臨時休業等による損失47百万円を特別損失に計上いたしました。

## 2. 連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	7,200	△100	△170	△290	△187.11
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	8,933	187	105	41	26.77

## 3. 修正の理由

2020年5月20日時点で新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算出することが困難なため未定として公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想」につきまして、第1四半期が終了し、いまだ不透明な面も残るものの、第1四半期を底として徐々に回復はするが年度末でも影響は残るという予測を前提として業績予想の修正を実施させていただきます。

売上高は減少し、固定費の削減にも努めますが、すべてをカバーすることは難しく、その結果、売上高7,200百万円（前年同期比19.4%減）、営業損失100百万円（前年同期は187百万円の利益）、経常損失170百万円（前年同期は105百万円の利益）、親会社株主の帰属する当期純損失は290百万円（前年同期は41百万円の利益）となる見通しです。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、経済状況や製品需要の変動、為替相場の変動などによって、本資料の予想とは異なることがありうることを予めご理解下さい。

以上